

今年8月28日、多摩区主催の川崎市総合防災訓練(避難所訓練)に参加しました。会場は川崎市立稲田中学校(体育館・校庭)で、川崎市国際交流協会からは27名(外国人市民:9名、登録ボランティア:11名、外国人窓口相談担当の多文化共生課職員:7名)参加しました。

当協会は、「災害時多言語支援センター」として位置づけられており、東日本大震災以降毎年、災害時における外国人市民への支援にさまざまな取り組みを行ってきました。今年度は実践面を重視して、避難所訓練に参加し、多摩区とも意見交換をすることになりました。

避難所体験は初めてという参加者がほとんどの中、「避難

所受け入れ」から、「災害トイレ(マンホールトイレ)」「避難用居住スペース」「炊き出し」など、説明を受けながら体験をしました。参加した外国人市民からは、「本当の災害時をもっと混乱状態。今回体験できてよかった。」「受付以外にも言語表記や絵の表示があると助かる。」「多くの外国人がこのような訓練に参加するとよい。」「避難所での節水の大切さや衛生的な食事の作り方がわかってためになった。」など、具体的な意見や感想ができました。今回の参加者の協力やネットワークを借りながら、今後も災害時の外国人支援について考えていきたいと思います。

(文:多文化共生課広報担当)



▲まずは外国語で受付



▲救護訓練では「体調の悪い外国人役」



▲体育館内に設置された避難所居住スペース



▲物資受入「バケツリレー」に中学生と参加

11月16日(水)には…  
中原区主催の帰宅困難者対策訓練にも参加しました。



2017年2月21日(火)には、「外国人とともに  
行う防災訓練」を行います。AEDや災害伝言  
板の使い方指導も受けられる体験型です。  
ぜひご参加ください。



## 川崎市国際交流センターの あれこれ・いろいろ紹介

# CENTER'S EYE Vol. 03

## 川崎市国際交流センターの“HI・MI・TSU”を知ろう!! ③

川崎市国際交流センターには国内外からの特別な寄贈品等がありますが、いつも何気なく通り過ぎてはいませんか?そんな当センターのHI・MI・TSUを引き続き、皆さんにご紹介します。川崎市国際交流センターに来て、ご参加・ご応募ください。

センター2階のどこかに展示してある兵馬備のレプリカ(複製品)です。

### クイズ



①このレプリカは、現代のどの国にあったものでしょうか?



②レプリカが手に持っている(はずの?)ものは、何でしょうか?

正解者の中から抽選で、5名の方にキャラクターグッズを差し上げます。

- ◆締切:1月30日(月)午後5時
- ◆回答方法:国際交流センターの受付においてある回答用紙に答えと必要事項を書いて応募箱に入れてください。正解は次号(春号)で発表します。なお、グッズの発送をもって発表に代えさせていただきます。(文:協会多文化共生課長)

### SIGNAL 秋号 クイズの正解

- ①どこの石? 「南極の石」
- ②重さは? 「12.4キログラム」



### 報告

## 川崎市国際交流センターへの道標が 新しくなりました!



最寄駅の東急東横・目黒線「元住吉駅」を下車し、「モトスミ・プレーン通り商店街」を7~8分歩くと、右角にこの道標があります。



あわせて、車止めも作りました。ご来館の際はぜひチェックしてください!

